

3. 地産地消に関する生産者等の意向の整理

1) 生産者の意向調査

(1) アンケート調査の概要

①目的

恩納村産の農産物の地産地消を進めるため、農業従事者の営農の状況や今後の意向等を把握し、計画の施策を検討する際の基礎資料として活用することを目的に実施した。

②アンケート調査対象

農業委員会に登録されている 558 名

③調査期間

平成 30 年 1 月 23 日（火）～平成 30 年 2 月 13 日（火）

④調査方法

郵送による配布・回収

⑤有効回収

有効回収数は 94 件、有効回収率は 16.8%となった。

(2) アンケート調査結果

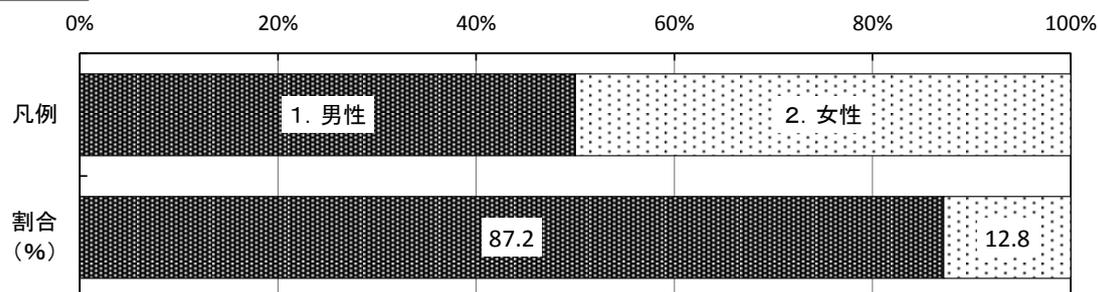
①回答者の属性

ア. 性別

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

回答者の9割弱(87.2%)が「1. 男性」、1割強(12.8%)が「2. 女性」と回答している。

ア. 性別



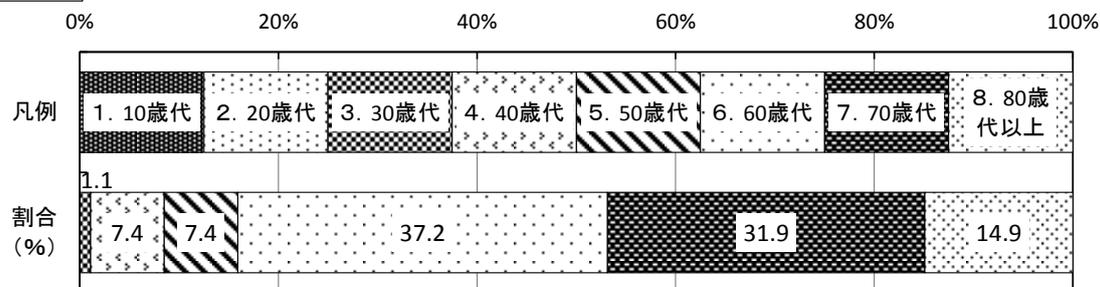
イ. 年代

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳代以上 |

「6. 60歳代」が4割弱(37.2%)と最も高く、次いで「7. 70歳代」(31.9%)、「8. 80歳代以上」(14.9%)、「4. 40歳代」・「5. 50歳代」(それぞれ7.4%)、「3. 30歳代」(1.1%)と続いている。「1. 10歳代」と「2. 20歳代」の回答はみられなかった。

『60歳代以上』が8割強(84.0%)を占め、『50歳代以下』は2割弱(15.9%)にとどまっている。

イ. 年代

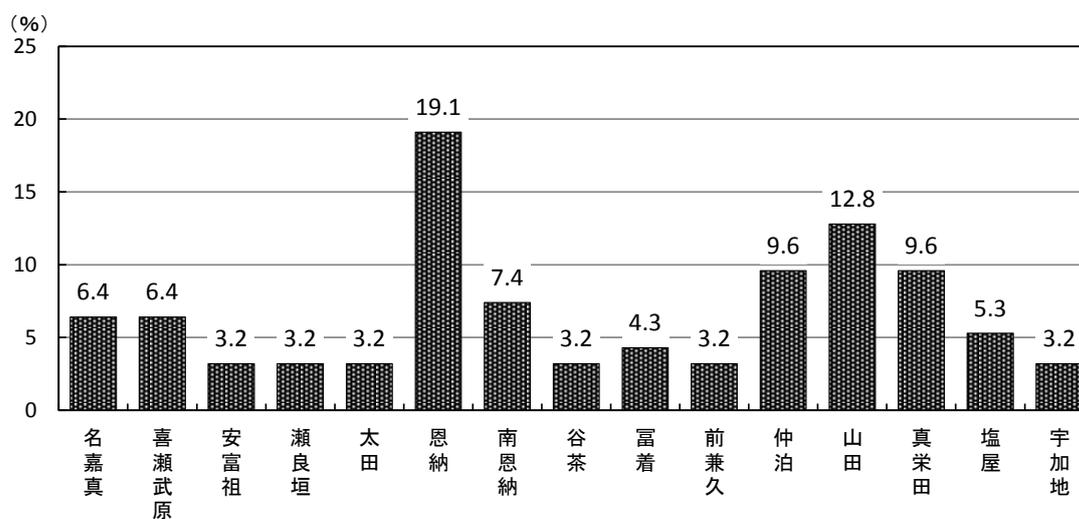


ウ. お住まいの地域の自治会

1. 名嘉真	2. 喜瀬武原	3. 安富祖	4. 瀬良垣
5. 太田	6. 恩納	7. 南恩納	8. 谷茶
9. 富着	10. 前兼久	11. 仲泊	12. 山田
13. 真栄田	14. 塩屋	15. 宇加地	

「6. 恩納」が約2割（19.1%）と最も高く、次いで「12. 山田」（12.8%）、「11. 仲泊」・「13. 真栄田」（それぞれ9.6%）と続いている。

ウ. 地域の自治会

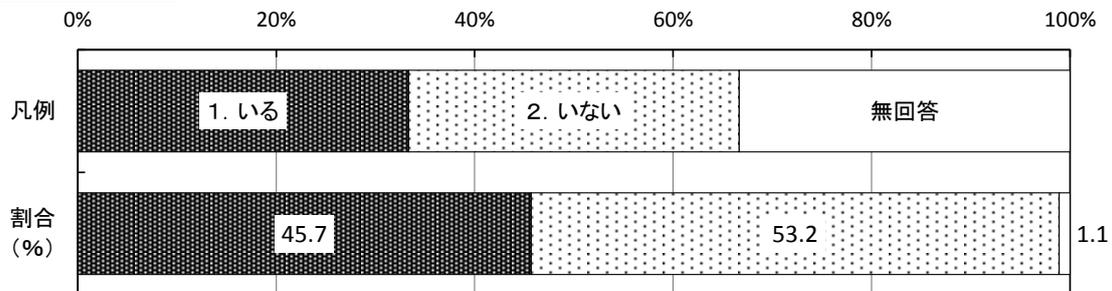


エ. 農業経営の後継者の有無

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

農業後継者の有無については、「2. いない」が5割強（53.2%）、「1. いる」が5割弱（45.7%）となっている。

エ. 後継者の有無

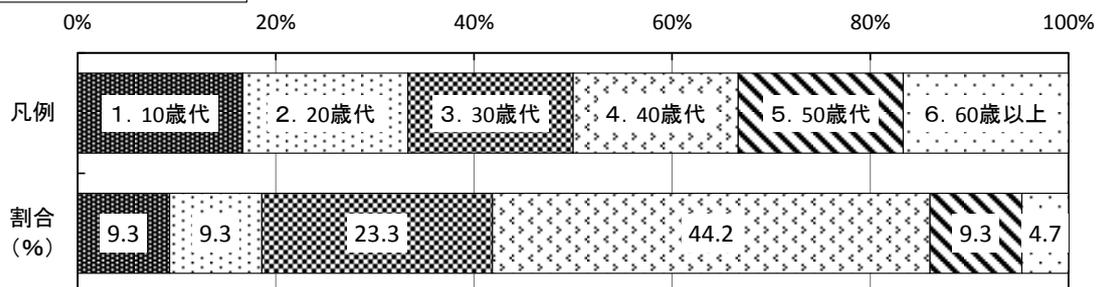


オ. 前問エ. で「1. いる」と回答した場合、後継者の年代

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳以上 | | |

後継者の年代については、「4. 40歳代」が4割強（44.2%）と最も高く、次いで「3. 30歳代」（23.3%）、「1. 10歳代」・「2. 20歳代」・「5. 50歳代」（それぞれ9.3%）となっている。

オ. 後継者の年代(n=43)



②所有している農地について

問1 あなたが所有している農地の面積はどのくらいですか。下記の表にご記入ください。(1a=100㎡≒0.1反)

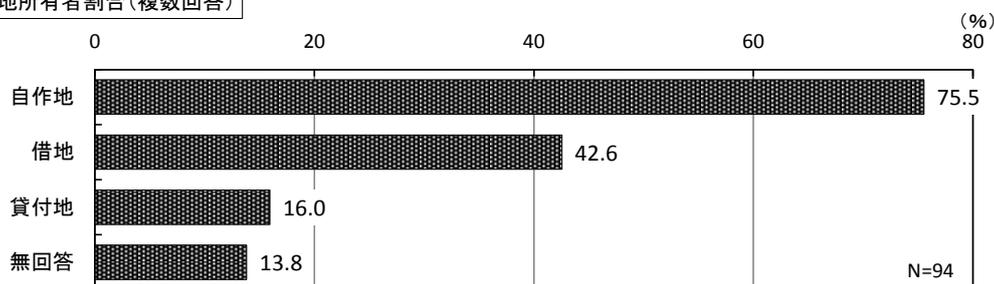
なお、所有している農地以外に借入地がある場合もご記入ください。

農地の所有状況については、「自作地」が8割弱(75.5%)と最も高く、次いで「借地」(42.6%)、「貸付地」(16.0%)となっている。

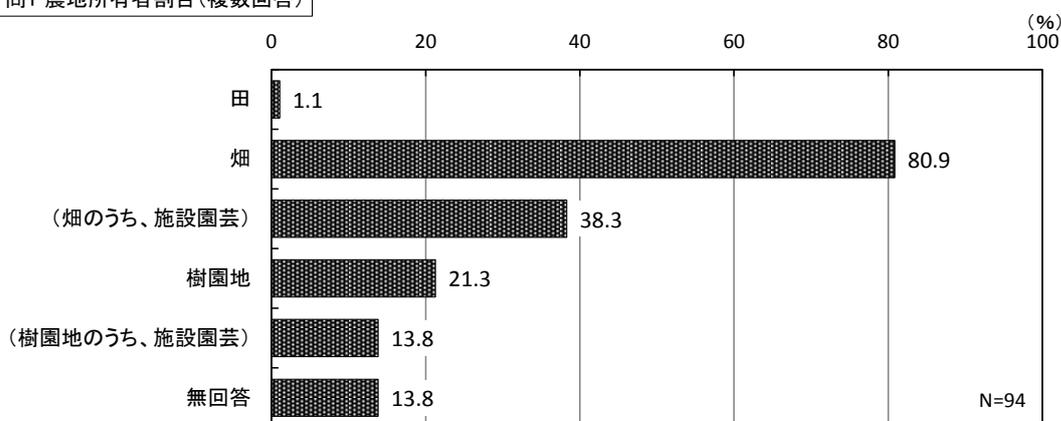
農地の種類については、「畑」が約8割(80.9%)を占め、そのうち約半数が「施設園芸」(38.3%)となっている。以下、「樹園地」(21.3%)、「田」(1.1%)と続いている。

農地面積規模別にみると、「0.3ha未満」が3割強(31.9%)と最も高く、次いで「0.3以上0.5ha未満」(16.0%)、「0.5以上1.0ha未満」(12.8%)となっており、『1.0ha未満』が約6割(60.7%)を占める。

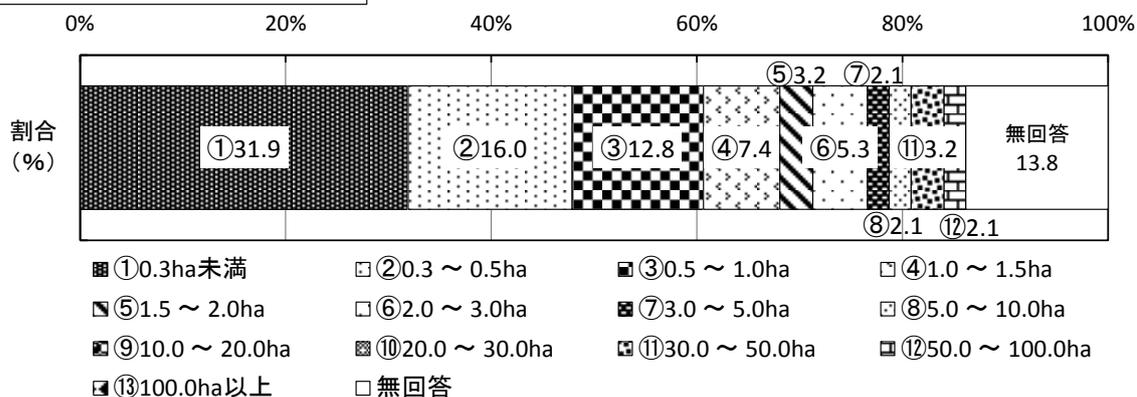
問1 農地所有者割合(複数回答)



問1 農地所有者割合(複数回答)



問1 農地面積規模別の所有者割合



③作物について

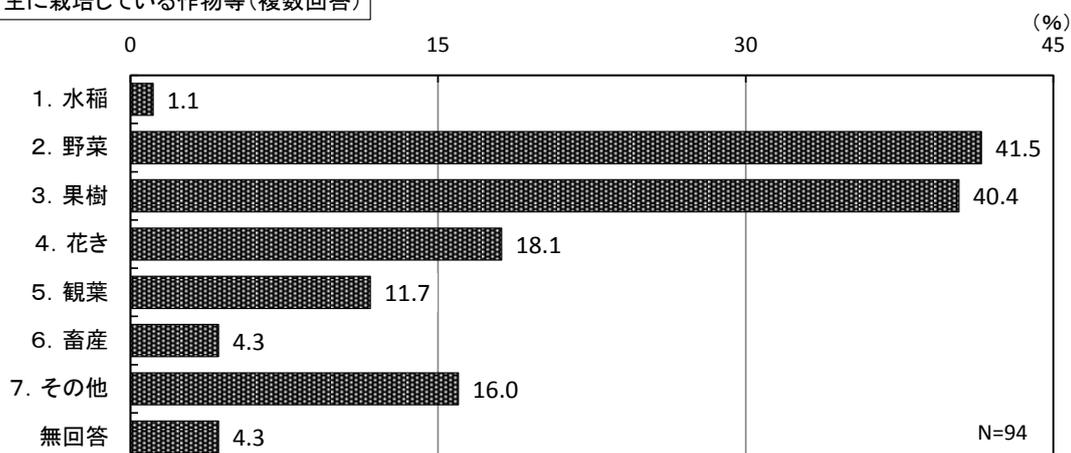
問2 あなたが主に栽培しているものは何ですか。

あてはまる番号にすべて○をつけ、主に営んでいる作物名などをご記入ください。

1. 水稲	
2. 野菜（主な作物名	）
3. 果樹（主な作物名	）
4. 花き（主な作物名	）
5. 観葉（主な作物名	）
6. 畜産（主な飼養家畜名	）
7. その他（	）

「2. 野菜」が4割強(41.5%)と高く、次いで「3. 果樹」(40.4%)、「4. 花き」(18.1%)と続いている。

問2 主に栽培している作物等(複数回答)



主な作物名

【2. 野菜】

ジャガイモ(7件)／レタス、ラッキョウ(各5件)／ゴーヤー、大根(各4件)／冬瓜、キャベツ、キュウリ、ニンジン、トマト、インゲン、葉野菜(各3件)／ニラ、ナス、ピーマン、ネギ(各2件)／ズッキーニ／カボチャ／ブロッコリー／葉ニンニク／島菜／ヘチマ／スイートコーン／葉タマネギ／サニーレタス／春菊／クーガイモ／根菜類／ミニトマト／根茎類／オクラ／トウモロコシ／タマネギ／パクチョイ

【3. 果樹】

アテモヤ(15件)／マンゴー(14件)／パッションフルーツ(8件)／ドラゴンフルーツ(3件)／タンカン、パイナップル、ミカン(各2件)／カニステル／グアバ／シークワーサー／スターフルーツ／スモモ／バナナ／ローゼル／水蜜桃／大紅／梅

【4. 花き】

ドラセナ(6件)／小菊(5件)／ヘリコニア(3件)／ストレッチア、チューベローズ、リアトリス(各2件)／アレカヤシ／オクラレルカ／切葉

【5. 観葉】

アルテシマ(3件)／アレカヤシ、ドラセナ(各3件)／ツピダンサス(2件)／ウンベラータ／オクラレルカ／ゴム類／パッサイヤ／ベンガルゴム

【6. 畜産】

牛(2件)／和牛／肉用牛(繁殖用)

【7. その他】

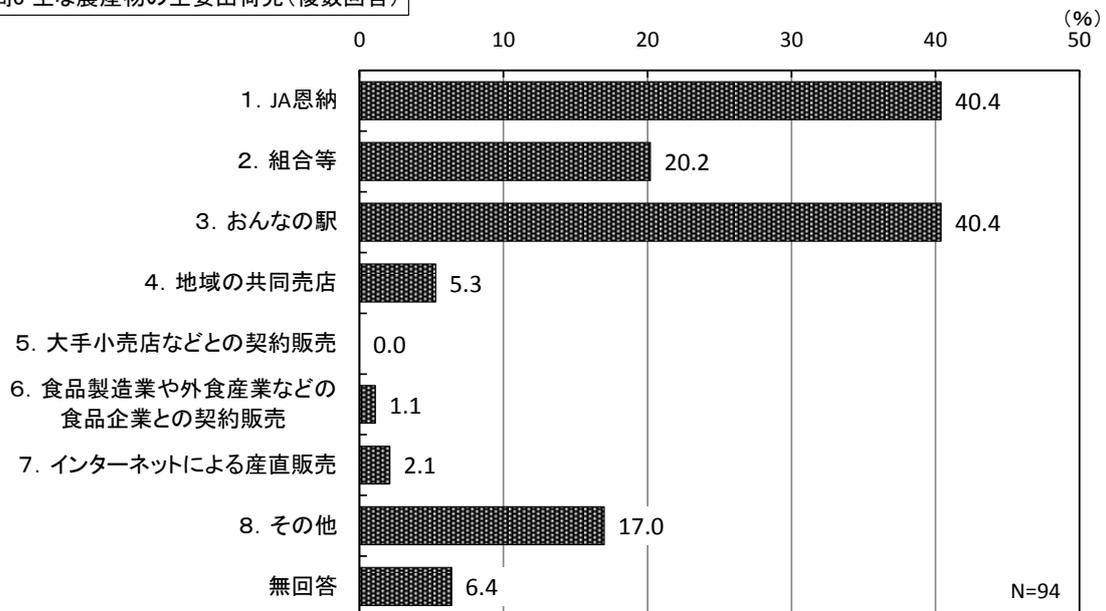
サトウキビ(15件)

問3 主な農産物(販売額が最も大きな作物)の主要な出荷先はどこですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. JA 恩納
2. 組合等
3. おんなの駅
4. 地域の共同売店
5. 大手小売店などとの契約販売
6. 食品製造業や外食産業などの食品企業との契約販売
7. インターネットによる産直販売
8. その他 ()

主な出荷先としては「1. JA 恩納」・「3. おんなの駅」がそれぞれ約4割(40.4%)と高く、次いで「2. 組合等」が約2割(20.2%)となっている。

問3 主な農産物の主要出荷先(複数回答)



【その他】

タバタ、今婦仁セリ市場(各3件)／スーパー／飲食店／かりゆしファーム／個人販売

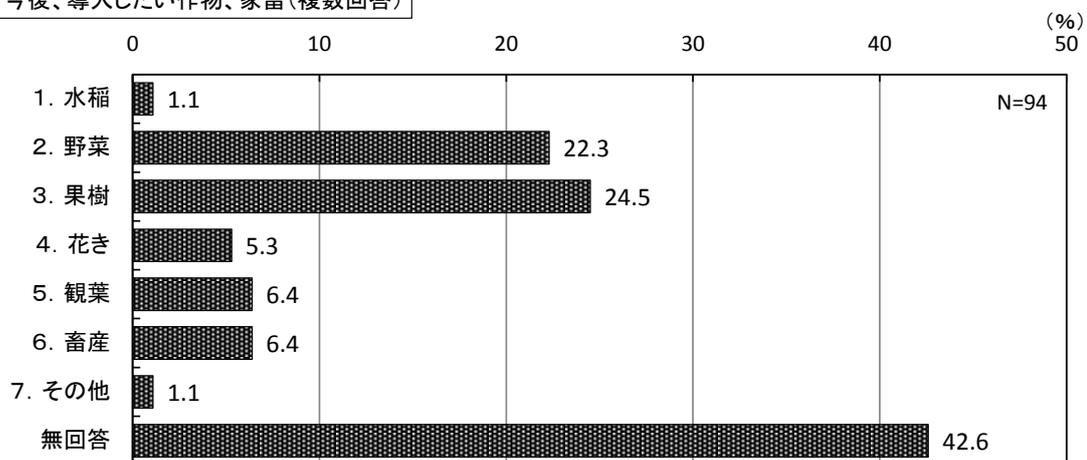
問4 今後、導入したい作物又は、家畜があればご記入ください。

あてはまる番号にすべて○をつけ、具体的な作物名又は家畜名などをご記入ください。

1. 水稲	
2. 野菜（主な作物名	）
3. 果樹（主な作物名	）
4. 花き（主な作物名	）
5. 観葉（主な作物名	）
6. 畜産（主な飼養家畜名	）
7. その他（	）

今後、導入したい作物等については、「3. 果樹」が2割強（24.5%）と高く、次いで「2. 野菜」（22.3%）、「5. 観葉」・「6. 畜産」（それぞれ6.4%）となっている。

問4 今後、導入したい作物、家畜（複数回答）



主な作物名

【2. 野菜】

キャベツ、大根（各3件）／キュウリ、ニンジン（各2件）／カボチャ／コリアンダー／サニーレタス／ジャガイモ／トマト／ラッキョウ／冬野菜／葉野菜

【3. 果樹】

アボカド（5件）／アテモヤ、マンゴー（各4件）／シークワーサー／パイナップル／パッションフルーツ

【5. 観葉】

ゴム類／フィカス類

【6. 畜産】

牛、繁殖和牛（各2件）

④土づくり等の状況について

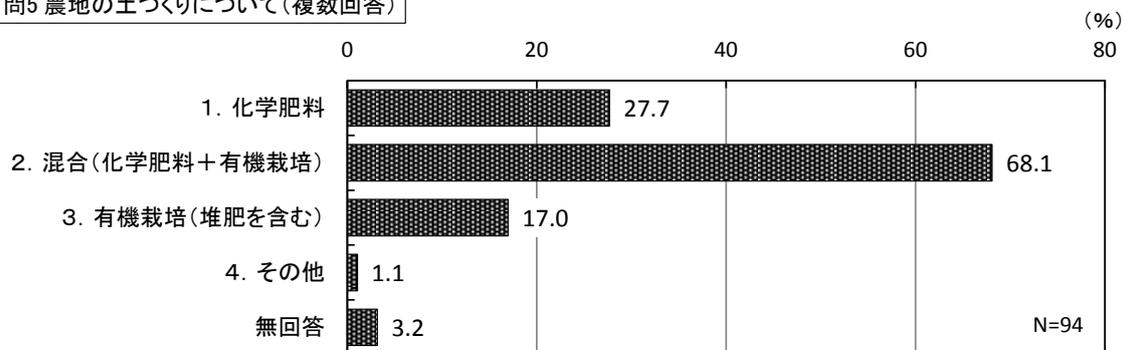
問5 あなたはどのような土づくりをしていますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 化学肥料 |
| 2. 混合（化学肥料＋有機栽培） |
| 3. 有機栽培（堆肥を含む） ⇒ 問5－1 |
| 4. その他（ ） |

農地の土づくりについては、「2. 混合（化学肥料＋有機栽培）」が7割弱（68.1%）と最も高く、次いで「1. 化学肥料」（27.7%）、「3. 有機栽培（堆肥を含む）」（17.0%）となっている。

化学肥料の使用を控える土づくりを行っている回答者（「2. 混合（化学肥料＋有機栽培）」＋「3. 有機栽培（堆肥を含む）」）が9割弱（85.1%）を占めている。

問5 農地の土づくりについて（複数回答）



問5で「3. 有機栽培(堆肥を含む)」と回答した方に伺います。

問5－1 その作物は何ですか。具体的な品目をご記入ください。

【野菜】

ジャガイモ、ラッキョウ、インゲン、ウツチン、オクラ、ゴーヤー、スイートコーン、タマネギ、トマト、ナス、ニンジン、ブロッコリー、ホウレンソウ、ミニトマト、春菊、冬野菜、葉野菜

【果樹】

アテモヤ、ドラゴンフルーツ、パッションフルーツ、パパイヤ、タンカン、ヒラミレモン

【花き・観葉】

アルテシーマ、アレカヤシ、ツピダンサス

【その他】

サトウキビ

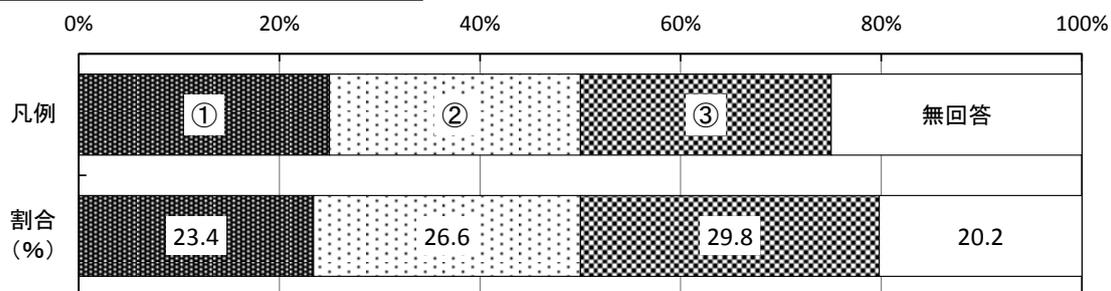
問6 あなたは『減化学肥料・減化学農薬』を一体的に行う“有機栽培”又は“特別栽培”に取り組みたいですか。

1. すでに有機栽培又は特別栽培による農産物の生産を行っている ⇒ 問6-1
 2. 有機栽培又は特別栽培に取り組んでみたい ⇒ 問6-1
 3. 有機栽培又は特別栽培に取り組む予定はない

“有機栽培”又は“特別栽培”への取り組み意向については、「3. 有機栽培又は特別栽培に取り組む予定はない」が約3割（29.8%）と高く、次いで「2. 有機栽培又は特別栽培に取り組んでみたい」（26.6%）、「1. すでに有機栽培又は特別栽培による農産物の生産を行っている」（23.4%）と続いている。

既に“有機栽培”又は“特別栽培”に取り組んでいる回答者及び今後、取り組みたいとする回答者の合計は5割（50.0%）を占め、回答者の半数が『減化学肥料・減化学農薬』に関心を示している。

問6 有機栽培・特別栽培の取り組みの意向



- ①すでに有機栽培又は特別栽培による農産物の生産を行っている
- ②有機栽培又は特別栽培に取り組んでみたい
- ▣ ③有機栽培又は特別栽培に取り組む予定はない
- 無回答

【問6で「1. すでに有機栽培又は特別栽培による農産物の生産を行っている」及び「2. 有機栽培又は特別栽培に取り組んでみたい」と回答した方に伺います。】

問6-1 その理由は何ですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 農業が持つ自然循環機能を活かした農業生産をしたいから
2. 土づくりにこだわりを持った生産をしたいから
3. 環境に対する関心が高まり、環境に配慮した生産が必要だから
4. 消費者の食の安全・安心に対するニーズが高まったから
5. その他 ()

【有機栽培の規格の要約】

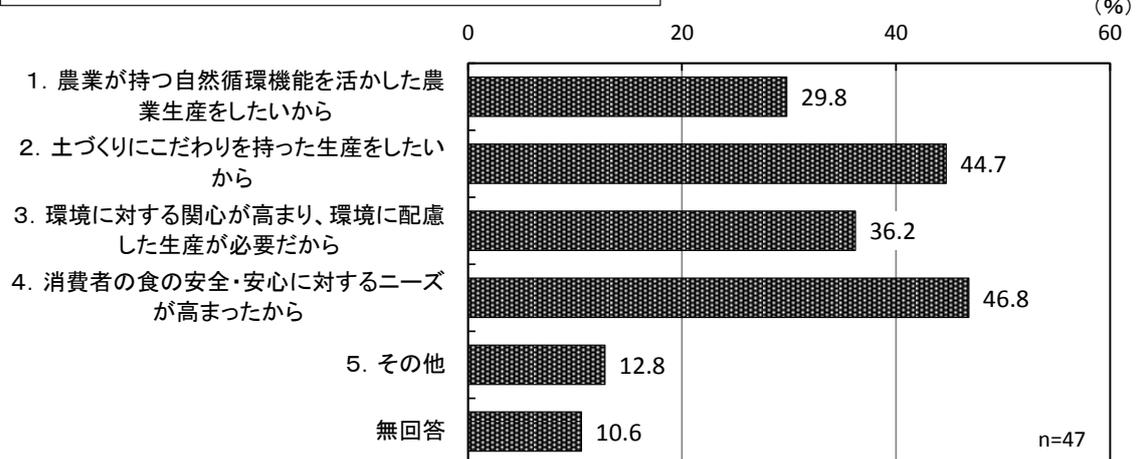
化学処理した肥料や農薬、農業資材を使っておらず、そのようなものが周辺から流入しない処置がされている。更にこの状態が3年以上続いていること。

【特別栽培の定義】

使われている化学肥料と農薬の量が、その農産物で通常使われる量の半分以下であること。

「4. 消費者の食の安全・安心に対するニーズが高まったから」が5割弱（46.8%）と最も高く、次いで「2. 土づくりにこだわりを持った生産をしたいから」（44.7%）、「3. 環境に対する関心が高まり、環境に配慮した生産が必要だから」（36.2%）、「1. 農業が持つ自然循環機能を活かした農業生産をしたいから」（29.8%）と続いている。

問6-1 有機栽培・特別栽培に取り組みたいと思う理由（複数回答）



【その他】

村、JAが推進しているから／連作栽培をしたいから／自ら食するので／自分自身の健康面に不安があるから

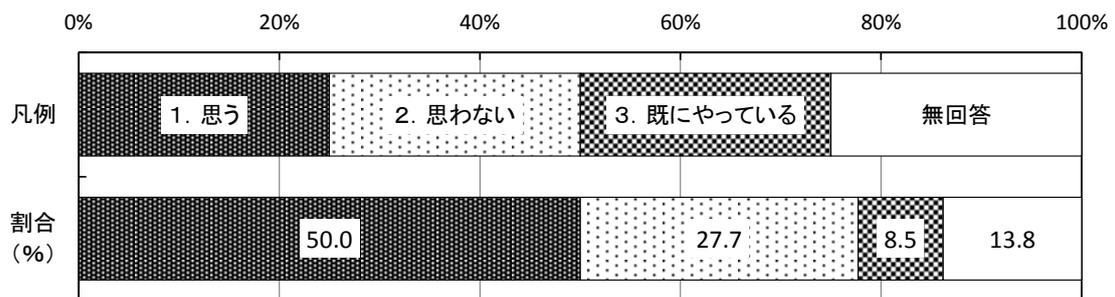
⑤農産物の販路について

問7 新鮮で安全な農産物を生産し、地域の宿泊施設や飲食店等に卸してみたいと思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. 既にやっている

「1. 思う」が5割 (50.0%)、「2. 思わない」が3割弱 (27.7%)、「3. 既にやっている」が1割弱 (8.5%) となっており、6割弱 (58.5%) (「1. 思う」+「3. 既にやっている」) が地域の宿泊施設や飲食店等に農産物を卸したいとしている。

問7 農産物を地域の宿泊施設や飲食店等に卸したいと思うか

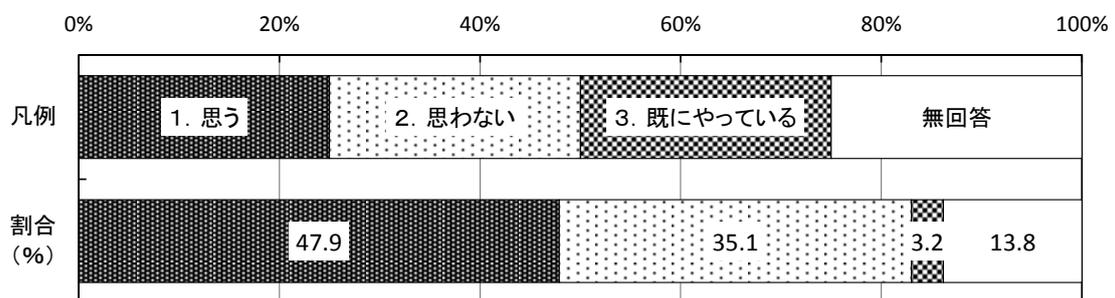


問8 新鮮で安全な農産物を利用した商品の開発に取り組んでみたいと思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. 既にやっている

「1. 思う」が5割弱 (47.9%)、「2. 思わない」が4割弱 (35.1%)、「3. 既にやっている」が1割未満 (3.2%) となっており、5割強 (51.1%) (「1. 思う」+「3. 既にやっている」) が農産物を利用した商品開発に取り組みたいとしている。

問8 農産物を利用した商品の開発に取り組みたいと思うか

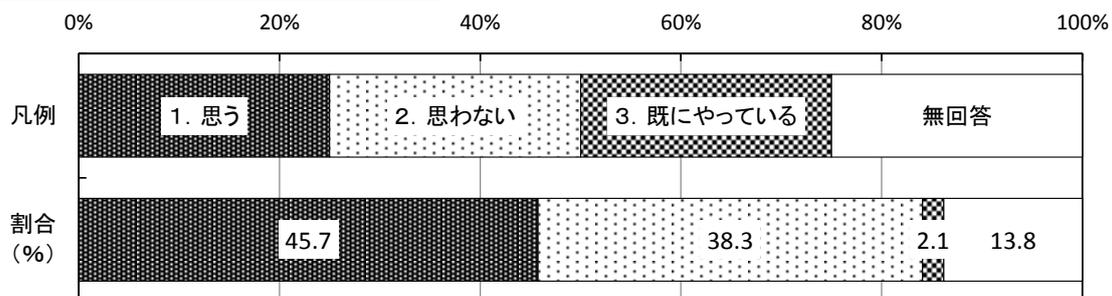


問9 新鮮で安全な農産物を生産し、学校給食に提供したいと思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. 既にやっている

「1. 思う」が5割弱（45.7%）、「2. 思わない」が4割弱（38.3%）、「3. 既にやっている」が1割未満（2.1%）となっており、5割弱（47.8%）（「1. 思う」+「3. 既にやっている」）が農産物を学校給食に提供したいとしている。

問9 農産物を学校給食に提供したいと思うか



⑥今後の地域の農業について

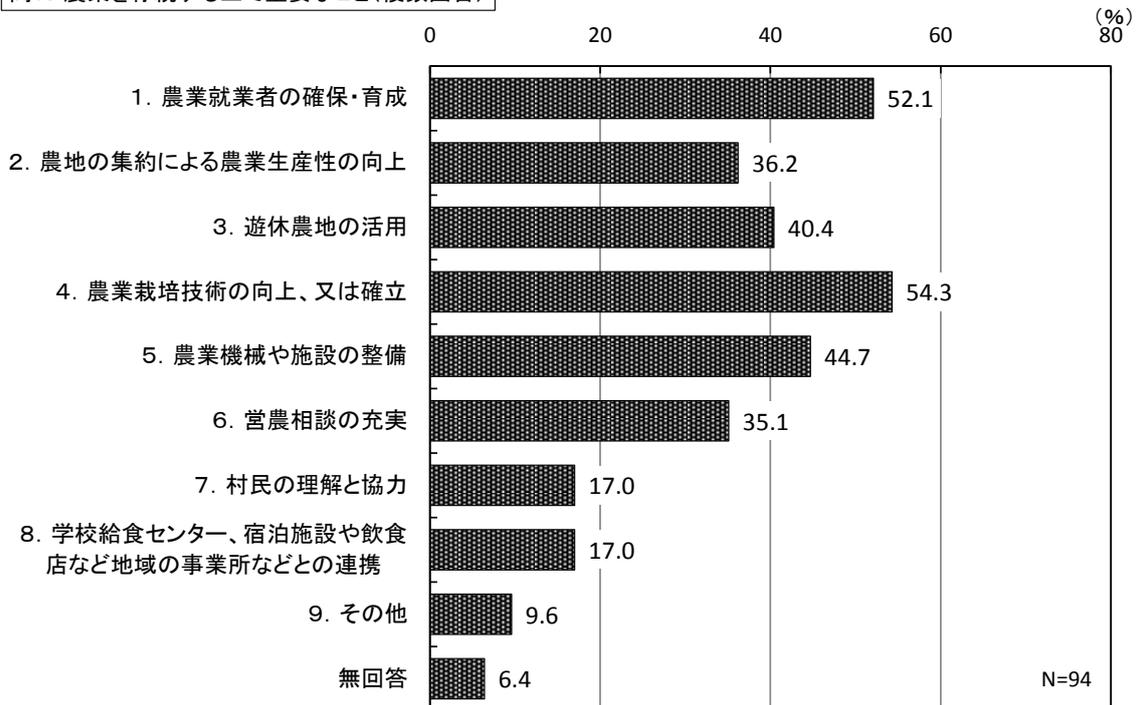
問 10 あなたは農業を存続していく上で、何が重要であると考えますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 農業就業者の確保・育成 |
| 2. 農地の集約による農業生産性の向上 |
| 3. 遊休農地の活用 |
| 4. 農業栽培技術の向上、又は確立 |
| 5. 農業機械や施設の整備 |
| 6. 営農相談の充実 |
| 7. 村民の理解と協力 |
| 8. 学校給食センター、宿泊施設や飲食店など地域の事業所などとの連携 |
| 9. その他 () |

「4. 農業栽培技術の向上、又は確立」が5割強（54.3%）と最も高く、次いで「1. 農業就業者の確保・育成」（52.1%）、「5. 農業機械や施設の整備」（44.7%）、「3. 遊休農地の活用」（40.4%）となっている。

生産性の向上に向けた栽培技術の向上や経営農地の拡大、機械・施設の整備、また、農業の担い手の確保・育成等に関する項目が上位を占めている。

問10 農業を存続する上で重要なこと(複数回答)



【その他】

有機栽培や特別栽培に取り組み、資格を取得している人に対しては補助があっても良いのではないかと。特に有機栽培は審査に来て頂けただけで数十万円もお金がかかる。／水道（農業用水）施設が必要だと思う。／経済的に安定した収入があること／台風等によるハウス被害の補助／施設の補助／肥料・ビニールハウスの施設の補助金／行政支援による所得向上策／意欲のある人には年齢、実績は考慮して補助制度を拡大して欲しい／水

問 11 恩納村の農産物の地産地消を進める上で、何が重要だと思いますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 宿泊施設や飲食店、製造業など、地域の事業所における販路開拓
2. 学校給食での恩納村産農産物の活用
3. 農地の拡大による生産量の増加
4. 農業栽培技術の向上による生産量の安定
5. 年間を通じた計画的な生産
6. トレーサビリティシステム（生産流通情報把握システム）※の導入
7. その他（ ）

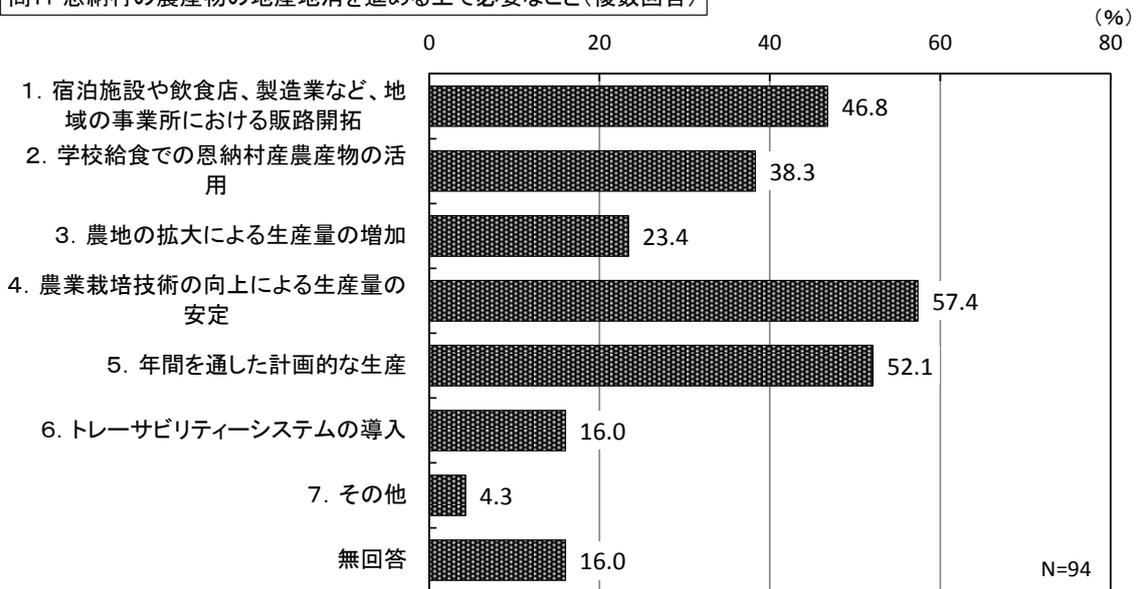
※トレーサビリティ（生産流通情報把握システム）とは、

食品等の生産や流通に関する履歴情報を追跡・遡及することができる方式。生産者や流通業者は、媒体（バーコード、ＩＣタグ等）に食品情報を集積するなどし、それを消費者等が必要に応じて検索できるシステム。これにより、食品事故発生時の早期原因究明や生産者と消費者の「顔の見える関係」の構築が期待される。

「4. 農業栽培技術の向上による生産量の安定」が6割弱（57.4%）と高く、次いで「5. 年間を通じた計画的な生産」（52.1%）、「1. 宿泊施設や飲食店、製造業など、地域の事業所における販路開拓」（46.8%）、「2. 学校給食での恩納村産農産物の活用」（38.3%）となっている。

村内における地産地消を進めるためには、農業技術の向上や計画的な生産による生産量の安定に加えて、村内での販路開拓が必要とする回答の割合が高くなっている。

問11 恩納村の農産物の地産地消を進める上で必要なこと（複数回答）



【その他】

加工技術と冷凍技術の確立／ビニールハウスの施設の導入／行政支援による所得向上策／農業用水の低価格化、できれば無料化

2) 村内事業所の意向調査

(1) アンケート調査の概要

①目的

恩納村産の農水産物の地産地消を進めるため、本村で事業活動を行っている宿泊施設・飲食店・小売店等での恩納村産の農水産物の利用状況や今後の意向等を把握し、計画の施策を検討する際の基礎資料として活用することを目的に実施した。

②アンケート調査対象

平成 30 年 1 月時点で i タウンページに掲載されている村内に立地している宿泊施設及び飲食店 (146 事業所)

③調査期間

平成 30 年 1 月 23 日 (火) ~平成 30 年 2 月 13 日 (火)

④調査方法

郵送による配布・回収

⑤有効回収

有効回収数は 19 件、有効回収率は 13.0%となった。

(2) アンケート調査結果

①食材の仕入れについて

問1 恩納村産の農水産物を食材として仕入れていますか。

1. 仕入れている	2. 仕入れていない
-----------	------------

回答のあった19事業所のうち13事業所が「1. 仕入れている」、5事業所が「2. 仕入れていない」と回答している。

問1 恩納村産の農林水産物を食材として仕入れていますか。

1. 仕入れている	13
2. 仕入れていない	5
無回答	1
合計	19

【問1で「1. 仕入れている」と回答した方に伺います。】

問1-1 恩納村産の農水産物はどのようなものを、どのような視点で仕入れていますか。

『恩納村産の農水産物を仕入れている』と回答があった13事業所にその食材名を伺ったところ、「海ぶどう」が9件と多く、次いで「モズク」8件となっている。以下、「アーサ」が4件、「レタス」が2件と続いている。

水産物を中心に恩納村産の食材の活用が進んでいることがわかる。

品目	件数
海ぶどう	9件
モズク	8件
アーサ	4件
レタス	2件
ゴーヤー	1件
パッションフルーツ	1件
マンゴー	1件
ドラゴンフルーツ	1件
うりずん豆	1件
ヘチマ	1件
島ダコ	1件
プチトマト	1件
もやし	1件

どのような視点で仕入れていますか。

地産地消のため(2件)／地元産の食材を提供することで、お客様に喜んでもらえるから／地元産を誇ることができる／海ぶどうの品質がよいから／必要な食材だから／地元生産者がいるから／観光客へ販売するため／新鮮で、安定した量を確保できる／日持ちする

【問1で「2. 仕入れていない」と回答した方に伺います。】

問1-2 恩納村産の農水産物を仕入れていない理由はなんですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 必要な農水産物が生産されていないから | |
| 2. 生産量が少ないから | |
| 3. 安定的な供給体制が整っていないから | |
| 4. 系列会社のネットワークで、仕入れ先が決まっているから | |
| 5. その他（ | ） |

「3. 安定的な供給体制が整っていないから」が3件、「1. 必要な農水産物が生産されていないから」が2件、「2. 生産量が少ないから」が1件となっている。

「5. その他」の具体的な理由として価格や品質、調達方法に関する記述があった。

問1-2 恩納村産の農水産物を仕入れていない理由はなんですか。

1. 必要な農水産物が生産されていないから	2
2. 生産量が少ないから	1
3. 安定的な供給体制が整っていないから	3
4. 系列会社のネットワークで仕入れ先が決まっているから	0
5. その他	3
無回答	0

【問1で「2. 仕入れていない」と回答した方に伺います。】

問1-3 どのような条件が揃えば、恩納村産の農水産物を仕入れたいと思いますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. ニーズに応じた農水産物の生産 | 2. 農水産物の生産量の拡大 |
| 3. 安定的な供給体制の確立 | 4. 販売価格の安定 |
| 5. 農水産物の品質の確保 | 6. 一次加工された農水産物の提供 |
| 7. トレーサビリティー（生産流通情報把握システム）※の導入 | |
| 8. その他（ | ） |

「4. 販売価格の安定」が5件と多く、次いで「3. 安定的な供給体制の確立」が4件、「5. 農水産物の品質の確保」が2件となっている。

問1-3 どのような条件が揃えば、農水産物を仕入れたいと思いますか。

1. ニーズに応じた農水産物の生産	1
2. 農水産物の生産量の拡大	1
3. 安定的な供給体制の確立	4
4. 販売価格の安定	5
5. 農水産物の品質の確保	2
6. 一次加工された農水産物の提供	1
7. トレーサビリティーの導入	1
8. その他	0

問2 貴社で食材として仕入れている農水産物は何ですか。主要 10 品目をご記入ください。
(年間の仕入れ量は概算で結構です)そのうち、恩納村産の仕入れ量はどのくらいですか。

仕入れている主要 10 品目の農水産物については、16 事業所から回答があった。

その中で件数が多い品目は農産物では、レタスやキャベツ、ゴーヤー、ニンジン、タマネギ、トマト、水産物では、海ぶどう、モズク、アーサが挙げられていた。

そのうち、海ぶどう、モズク、アーサについてはすべて恩納村産となっている一方で、農産物ではレタス等で若干みられる程度となっている。

品目	件数
レタス	8件
海ぶどう	6件
キャベツ	6件
モズク	5件
ゴーヤー	5件
アーサ	4件
ニンジン	4件
タマネギ	4件
トマト	4件

問3 仕入量が不足する農水産物がありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

仕入量が不足する農水産物の有無については、8 事業所が「1. ある」、9 事業所が「2. ない」と回答している。

問3 仕入量が不足する農水産物がありますか。

1. ある	8
2. ない	9
無回答	2
合計	19

問3-1 仕入が著しく不足する農水産物は何ですか。また、その時期はいつですか。

仕入が著しく不足する農水産物については具体的な回答が得られたのは右表のようになっており、キャベツやレタスといった野菜類を中心に、年間を通して不足している状況となっている。

品名	期間
キャベツ	12月～3月
キャベツ	7月～10月
レタス	10月～4月
レタス	7月～10月
ゴーヤー	10月～3月
島らっきょう	10月～2月
島らっきょう	4月～11月
ネギ	8月～9月
大根	1月～2月
ベニイモ	10月～11月
イチゴ	11月～12月
アーサ	1月～4月
トマト	7月～10月

問6 貴社が食材として使用している農水産物は、通年同じ仕入先ですか。

- | |
|--------------|
| 1. 通年、同じ仕入先 |
| 2. 状況に応じて異なる |

食材の仕入れ先は通年同じ仕入先かどうかについては、13事業所が「1. 通年、同じ仕入先」、6事業所が「2. 状況に応じて異なる」と回答している。

問6 食材として使用している農水産物は、通年同じ仕入先ですか。

1. 通年、同じ仕入先	13
2. 状況に応じて異なる	6
合計	19

【問6で「1. 通年、同じ仕入先」と回答した方に伺います。】

問6-1 主な仕入れ先はどこですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 契約栽培農家から仕入れている | 2. 同じ市場から仕入れている |
| 3. 商社から仕入れている | 4. 卸問屋から仕入れている |
| 5. その他 () | |

「4. 卸問屋から仕入れている」が7件、「3. 商社から仕入れている」が4件、「2. 同じ市場から仕入れている」が2件となっている。

問6-1 主な仕入れ先はどこですか。

1. 契約栽培農家から仕入れている	0
2. 同じ市場から仕入れている	2
3. 商社から仕入れている	4
4. 卸問屋から仕入れている	7
5. その他	1
無回答	1

問7 食材として輸入農水産物を使用していますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

輸入農水産物の使用の有無について伺ったところ、「1. はい」が13事業所、「2. いいえ」が6事業所となっている。

問7 食材として輸入農水産物を使用していますか。

1. はい	13
2. いいえ	6
合計	19

問7-1 輸入農水産物を使用する理由を教えてください。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 安定的な量が確保できるから	2. 価格が手ごろだから
3. 自社の規格にあっているから	4. 品質が良いから
5. その他（ ）	

「1. 安定的な量が確保できるから」が12件と多く、次いで「2. 価格が手ごろだから」が9件、「4. 品質が良いから」が3件、「3. 自社の規格にあっているから」が2件となっている。

問7-1 輸入農水産物を使用する理由を教えてください。

1. 安定的な量が確保できるから	12
2. 価格が手ごろだから	9
3. 自社の規格にあっているから	2
4. 品質が良いから	3
5. その他	0

問8 貴社で使用している農水産物は、規格(色、形、長さなど)、栽培方法(減農薬低化学肥料栽培、有機農法など)などに基準はありますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 規格に基準がある	2. 栽培方法に基準がある
3. 基準はない	4. その他（ ）

使用している農水産物に規格や栽培方法等の基準の有無については、「3. 基準はない」が12事業所、「1. 規格に基準がある」が5事業所、「2. 栽培方法に基準がある」が1事業所となっている。

問8 使用している農水産物は、栽培方法や規格などに基準はありますか。

1. 規格に基準がある	5
2. 栽培方法に基準がある	1
3. 基準はない	12
4. その他	0
無回答	1

【問8で「1. 規格に基準がある」と回答した方に伺います。】

問8-1 どのような規格の基準がありますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 色	2. 形	3. 重さ	4. 長さ
5. その他 ()

使用している農水産物に『規格に基準がある』と回答した5事業所にその基準を伺ったところ、「2. 形」が5件、「1. 色」が3件と回答している。

問8-1 どのような規格の基準がありますか。

1. 色	3
2. 形	5
3. 重さ	1
4. 長さ	0
5. その他	1

【問8で「2. 栽培方法に基準がある」と回答した方に伺います。】

問8-2 どのような栽培方法ですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 特別栽培	2. 有機栽培
3. その他 ()

使用している農水産物に『栽培方法に基準がある』と回答した1事業所にその基準を伺ったところ、「2. 有機栽培」と回答があった。

問8-2 どのような栽培方法ですか。

1. 特別栽培	0
2. 有機栽培	1
3. その他	0

②食材の産地表示やメニューについて

問9 恩納村産の農水産物を利用した食品を消費者に提供する際に、恩納村産の食材を利用していることを商品やメニューに表示することは可能ですか。

1. 既に表示している	2. 検討している	3. 考えていない
-------------	-----------	-----------

恩納村産の食材を利用していることを表示することについては、「1. 既に表示している」が9事業所、「2. 検討している」が8事業所、「3. 考えていない」が2事業所となっている。

問9 恩納村産の食材を利用していることを商品やメニューに表示について

1. 既に表示している	9
2. 検討している	8
3. 考えていない	2
合計	19

問10 恩納村産の農水産物を利用した商品やメニューを提供したいと思いますか。

1. 既に提供している	2. 検討している	3. 考えていない
-------------	-----------	-----------

恩納村産の農水産物を利用した商品やメニューの提供について、「1. 既に提供している」が12事業所、「2. 検討している」が6事業所、「3. 考えていない」が1事業所となっている。

問10 恩納村産の農水産物を利用した商品やメニューを提供について

1. 既に提供している	12
2. 検討している	6
3. 考えていない	1
合計	19

問11 生産者と貴社のような宿泊施設、外食産業、食品流通業などの企業と連携を図り、生産・流通・販売を一体として進める契約栽培を推進していくべきだと思いますか。

※契約栽培とは、生産者があらかじめ業者等と品質、規格、価格等を取り決めて栽培を行うこと。

1. 現在実施している	2. 現在実施を考えている
3. 今後検討したい	4. 考えていない

契約栽培の推進については、「3. 今後検討したい」が13事業所、「1. 現在実施している」が3事業所、「2. 現在実施を考えている」が2事業所、「4. 考えていない」が1事業所となっている。

問11 契約栽培を推進していくべきだと思いますか。

1. 現在実施している	3
2. 現在実施を考えている	2
3. 今後検討したい	13
4. 考えていない	1
合計	19

問 12 生産者と貴社のような宿泊施設、外食産業、食品流通業などの企業と連携を図り、新たな製品や販路、ブランドの創出を推進していくべきだと思いますか。

1. 現在実施している	2. 現在実施を考えている
3. 今後検討したい	4. 考えていない

新たな製品や販路、ブランドの創出の推進については、「3. 今後検討したい」が10事業所、「4. 考えていない」が6事業所、「2. 現在実施を考えている」が2事業所、「1. 現在実施している」が1事業所となっている。

問12 新たな製品や販路、ブランドの創出を図るべきだと思いますか。

1. 現在実施している	1
2. 現在実施を考えている	2
3. 今後検討したい	10
4. 考えていない	6
合計	19

問 13 生産者と貴社のような宿泊施設、外食産業、食品流通業などの企業と連携を図り、販売価格の一部を安全・安心な生産環境の整備等の基金として活用すべきだと思いますか。

1. 現在実施している	2. 現在実施を考えている
3. 今後検討したい	4. 考えていない

販売価格の一部を安全・安心な生産環境の整備等の基金として活用することについては、「3. 今後検討したい」が8事業所、「4. 考えていない」が7事業所、「2. 現在実施を考えている」が4事業所となっている。

問13 販売価格の一部の基金として活用すべきだと思いますか。

1. 現在実施している	0
2. 現在実施を考えている	4
3. 今後検討したい	8
4. 考えていない	7
合計	19

問 14 その他、恩納村で農水産物の地産地消を進めることについて、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

農水産物の価格や供給量の安定、販売環境の整備等、村内事業所が恩納村産の食材を活用するための意見として、7事業所から回答があった。

問 14 地産地消に関する自由意見

- ・村内の居酒屋等に安価で提供してほしい。恩納村漁協の商品はとても品質が良いので頑張してほしい。コンビニ等にお土産割引チラシを設置したらよい。
- ・恩納村の農水産業は実際に生産性・知名度があまり無いと思う。ごく一部だけの生産にとどまり、恩納村全体では生産していない感じがする。なかゆくい市場以外に地元民が農水産物を買う・売る場所があると良いと思う。
- ・おんなの駅様からの少ロットでの配達があると、今よりも地元食材を使用できる。水耕栽培の施設があると利用できる。
- ・季節ごとに安定した農産物の供給を望む。新しい農水産物を手掛けても、すぐに生産を中止してしまう事が多く、宣伝によって情報が行き届いた時には品物が生産されていないため、目当てにして来られたお客様に大変な迷惑をかけてしまった事がしばしばある。
- ・農家さんが道の駅などに出せない規格外の野菜を仕入れようと考えている。
- ・現在7店舗で野菜を扱っていますが、一社に絞り、物によってはカット野菜を納品してもらっています。配送をしていただけるなど流通と、年間を通しての供給が安定していることが重要です。
- ・生産者との交流の様なものがあるならば、お互い理解が深まり、求めているものがわかり、知識も広がり、商品開発にもなると思います。